



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.715 2024.3.27

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

物価高騰
から

暮らし・営業を守れ

日本共産党区議団 新社・れいわと共同で予算組み替え提案

日本共産党区議団は、27日の北区議会第1回定例会最終本会議に、新社会党・れいわ新選組所属の議員と共同で、総額34億3000万円となる暮らし・営業支援の予算組み替え動議を提出しました。(のの山けん)

3つの会派・無会派を代表して、提案理由説明に立った日本共産党の山崎たい子幹事長は「区民の暮らしと営業は物価高騰で困難な状況が続いているが、単身世帯や非正規、低・中所得層、中小業者などへの直接支援は未だ不十分。コロナ禍、物価高にあっても積み上がってきた北区の財政調整基金を活用し、さらなる暮らし応援の予算組み替えを求め」と強調しました。

北区独自の

給付金支給を

組み替え予算の中で

約28億円と大きな部分を占めるのは、課税標準額200万円(年収約400万円)以下の課税者やケアワーカー、会計年度任用職員、中小事業者への給付金。こうした直接支援こそ、いま最も求められている施策です。

住まい、教育、

国保料の軽減

さらには家賃補助による住まいの支援、学用品無償化など教育費や国保料の負担軽減などを盛り込みました。

採決では、自民、公明、維新などの反対多数で、組み替え動議は否決となりました。

日本共産党・新社会党・れいわ新選組の 予算組み替え提案



北区独自の給付金支給 28億3500万円

- ▶ 課税世帯による扶養非課税者及び家計急変世帯に7万円給付
- ▶ 課税標準額200万円以下の納税者に2万円支給
- ▶ 介護従事者へ3万円の給付金
- ▶ 障がい者サービス従事者へ3万円の給付金
- ▶ 会計年度任用職員へ3万円の給付金
- ▶ 中小事業者向けの直接支援



住宅支援 6500万円

- ▶ 非正規雇用や住宅確保要配慮者などへの家賃補助制度の創設



教育費の負担軽減 4億6500万円

- ▶ 区立小・中学校の学用品を所得制限なしで全額無償化
- ▶ 生活保護世帯の大学生等へ50万円の給付型奨学金

国保料の負担軽減 6500万円

- ▶ 18歳までの均等割5割減額手当

暮らしを支援する予算に

日本共産党議員団が3つの理由で一般会計予算に反対

27日の最終本会議で日本共産党区議団を代表し、宇都宮ゆり議員が新年度予算への反対討論に立ちました。

(のの山けん)



宇都宮ゆり議員

第1の理由

コロナ禍や異常円安、物価高騰が続く中、今年度末、過去最高額に並ぶ198億円余の財政調整基金を積み上げながら、非正規雇用や低・中所得層、中小業者などへの直接支援が不十分にとどまったこと。

第2の理由

DXを基軸にした「行財政改革」を位置づけ、区民の利便性の向上を図るとしながら、総体としての職員削減、外部化、非正規化など、人件費のコストカット、不安定雇用や格差拡大につながる経営改革路線をさらに深化させようとしていること。

第3の理由

公民連携でタワーマンションを呼び込む駅周辺まちづくりなど、大型開発中心のまちづくりをすすめる姿勢。

組み替え動議に対する公明党の反対討論

二元代表制の否定 につながる暴論

27日の本会議では、予算組み替え動議に対し、共産、新社会、れいわが賛成討論を、自民、公明、維新が反対討論を行いました。

過去最高規模に膨れ上がった財政調整基金を、暮らし・営業のために活用することで景気の好循環を生み出す

のか、それともさらなる積み立てに回すのかという争点が浮き彫りとなる中で、公明党の反対討論は異様な論理の展開となりました。公明の議員は、北区の財調基金残高は十分でなく、これ以上取り

崩すべきではないと述べた上で、「今から組み替えていたら4月からの予算執行がなくなる」、「財政当局が6か月もかけて編成した予算に組み替え動議を出すこと自体が問題だ」などと述べました。

予算のチェックは議会の責務

しかし、行政が提案した予算案をチェックするのは議会の重要な責務であり、そのために7日間の集中した予算特別委での審査が保障されているのです。そもそも区長と議会

は共に区民によって選ばれる2つの代表機関であり、お互いが牽制しながら対等の立場で区政を推進していく役割を担っています。行政が編成した予算案には一切修正を求めるべからず」という議論は、こうした二元代表制を根底から否定することにつながる暴論と言わざるを得ません。

日本共産党を誹謗・中傷

公明の議員はさらに、「組み替え動議の目的は自らの党勢を拡大するためのアピールだ」などと日本共産党を誹謗・中傷。提案に示された区民の切実な要望には目もくれず、的外れな共産党攻撃で討論を締めくくりました。(のの山けん)